

目次	
用途 特長	p.2
警告 注意	p.3～5
各部の名称	p.6～8
付属品 別売品	p.9
ご使用前に バッテリー残量確認ボタンの使用方法	p.10
バッテリー残量確認ランプの見方 バッテリーの交換方法	p.11～12
使用方法	p.12～14
受光器の使用方法	p.15～16
水平調整三脚アダプターの使い方	p.16～17
雲台の使い方 (LEXIA-E VIVIDのみ)	p.17
ライン固定モード (LEXIA-E VIVIDのみ) レーザー照射モード	p.18
レーザー照射モードの使用方法	p.19
ホルダー EASY-LOCKの使用方法	p.20～21
使用前の点検(精度確認)	p.22～26
故障かな?と思ったら	p.27
仕様	p.28～29
MEMO	p.30
修理およびメンテナンス	p.31

- 用途
- 建築現場、内装工事などの基準出しに。1人作業や省力化に。
 - 明るい現場や離れた距離でレーザーラインが見えにくい場所での墨出しに。
 - 高層ビルなどの振動の多い現場での基準出しに (LEXIA-E VIVIDのみ)。
- 特長
- 受光器で決めた位置に向けて回転し、自動でレーザーラインを合わせることで、2人での作業が必要な地墨合わせ作業を1人で行えます。
 - 自動追尾モードとリモコン操作モードの切り替えがなく、スムーズに作業ができます。
 - 受光器は付属のホルダー EASY-LOCKに取り付けて持ち運びができます。取付コマは着脱可能です。
 - 受光器は付属の受光器ホルダーをお使いいただくと、柱などに取り付けられます。
 - 受光器を使用することで、屋外などのレーザーラインが見えにくい場所でもご使用いただけます。^{※1}
 - 振動に強い電子水平センサー+モーター方式を採用しました (LEXIA-E VIVIDのみ)。
 - 斜めにラインを照射したい時に便利なライン固定モード付です (LEXIA-E VIVIDのみ)。
 - レーザーラインの明るさを4段階で切り替えることができます。強モードは明るい現場で見やすく、従来品に比べ約2倍の明るさの高出力レーザーです。VIVIDモードは強モードの約3倍の明るさで照射できます。
 - 弱モードは暗い現場でもレーザーラインがざらつかずに見やすく、バッテリーが長持ちするので長時間の連続使用が可能です。
 - 電源をOFFにした時の照射ラインが、次に電源をONにした時にそのまま照射されるラインメモリー機能付です。こまめに電源をOFFにしても、復帰時に照射ラインを切り替える必要がありません。^{※2}
 - 専用のリチウムイオンバッテリーは、繰り返し充電でき、交換可能です。
 - 防塵・防水仕様 (保護等級IP54) のため、粉塵や水の飛沫による故障の心配がありません (USBケーブル接続時は防塵・防水性能が保証されません)。
 - 付属の水平調整三脚アダプターを使用することで、三脚への取り付けが簡単にでき、三脚に取り付けた状態でも本体の水平出しが可能になります。
 - LEXIA-E VIVIDは±2.5°、LEXIA VIVIDは±3°まで傾きを自動補正します。
 - 過剰な明るさのレーザー発光を抑える保護回路搭載で安心です。
- ※1 ご使用になる作業環境や測定位置により正しく検知できないことがあります。
p.5「受光器の注意」をご参照ください。
- ※2 VIVIDモード時のみラインメモリー機能が無効になります。VIVIDモードのまま電源スイッチを切り、再度電源を入れると中モード・横ラインのみで照射されます。

△ 警 告

レーザーラインが目に入ると視力低下・失明を起こす恐れがあります。

- 光学機器で直接レーザーラインを見ないでください。
- レーザーラインを直接のぞきこまないでください。
- レーザーラインを他の人に向けしないでください。
- レーザー光路は頭の高さを避けてください。
- レーザー光路に反射物を置かないでください。
- 測定場所に「レーザー使用中」の警告表示をしてください。

△ 注 意

保管・運搬時の注意

- 本製品の取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
- 本製品を持ち運ぶ時や使用後は、必ず電源をOFFにしてください。OFFにすることで自動補正機構が同時にロックされます。
- 使用後は水平調整脚をいっぱいまで締め込んでください。緩めたまま持ち運ぶと、脱落や紛失の恐れがあります。
- 落下などによる強い衝撃や振動を与えないでください。不具合の原因となります。
- 使用後は必ずアルミケースに入れてください。
- 汚れた場合は柔らかい布で拭いてください。シンナーなどの揮発油やアルコール類で拭かないでください。
- 次のような場所には保管しないでください。
 - 直射日光の当たる場所や高温(40℃以上)になる場所
 - 磁気を帯びた場所
 - 振動の多い場所
 - 子供の手の届く場所

使用上の注意

- 用途以外には使用しないでください。
- 使用前に必ずレーザーロボ本体の精度確認をしてください。
- バッテリーが本体にしっかり固定されていることを確認してから使用してください。
- レーザーラインに並行して薄い光が出ることがありますが、特性上照射されるものであり、故障ではありません。
- 壁などに近付ける際、レーザー照射口に衝撃を与えないよう注意してください。
- レーザー照射口に触れないでください。
- 本製品は保護等級IP54の防塵・防水性能を有していますが、レーザー照射口に水滴・ほこりなどの付着、または急な温度変化による結露があるとレーザーラインを正確に照射できなくなる場合があります。柔らかい布などできれいに拭き取り、本体を室温に馴染ませてから使用してください。
- 本製品は完全防水ではありません。故障の原因となるので水に浸かのような場所で使用しないでください。またUSBケーブル接続時は防塵・防水性能が保証されません。
- 本製品の取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
- 直射日光の当たる場所や高温となる場所での長時間の使用は、レーザーの消費電力が過大となり、性能や寿命を著しく劣化させ、故障の原因となりますので使用しないでください。

△ 注 意

- USBケーブルを接続しない場合は必ずゴムキャップを閉めてください。
- 三脚を使用の際はレーザーロボの取り付けを確実に行ってください。
- 三脚にレーザーロボを取り付けた状態でレーザーロボを持ち上げないでください。
- 三脚を使用の際は倒れないように置いてください。
- 幼児の手の届かない所に保管してください。
- レーザーラインを照射しながら、急に回転させると点滅することがあります。
- レーザーラインの性質・危険性について十分理解したうえで使用してください。
- 日本国外では使用しないでください。

着脱式リチウムイオンバッテリーの注意

- 指定用途以外の目的に使用をしないでください。
- 連続使用時間や充電時間は使用環境や充電回数などで変動します。
- 充電しながらの使用は劣化を早める恐れがあります。
- 充電中バッテリーが熱くなることがありますので、注意してください。
- バッテリーには寿命があります。充電と使用を繰り返すうちに、一回の使用時間が徐々に短くなります。一回の使用時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われます。新しいリチウムイオンバッテリー(LEXIA-E VIVID:品番80985、LEXIAE VIVID:品番80601)と交換してください。
- 使用済みのリチウムイオンバッテリーはリサイクルすることができます。廃棄の際は分解せずにリサイクル業者へお持ちいただくか、自治体の指示に従ってリサイクルにご協力いただきますようお願いいたします。
- 充電完了後は速やかに充電プラグを抜き、充電器をコンセントから外してください。
- 長期間使用しないまま保管すると自然放電で電池残量が減ることがあります。
- 外部接続端子やコネクタにほこりや汚れが付いている場合は、乾いた布などできれいに拭き取ってください。
- 本体に金属類を差し込まないでください。
- 弊社は、本製品に関連して生じたお客様および第三者の結果的損害、付随的損害、逸失利益などの間接損害について、それらの予見または予見可能性の有無にかかわらず一切の責任を負いません。ただし、弊社に故意または重過失が存する場合またはお客様が消費者契約法上の消費者に該当する場合は、この限りではありません。本製品の使用に関し弊社が損害賠償責任を負う場合、本製品の代金相当額を限度額として賠償責任を負うものとします。



Li-ion

無線の周波数について

本製品が使用している周波数は2.4GHz帯です。この周波数は他の無線機器でも使用していることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するために下記の近くでは注意して使用してください。

- 産業・科学・医療用機器など
- 他の同種無線局
- 工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)
- 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- IEEE802.11g/b/n無線LAN機器

また、本製品と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、使用を停止(電波の発射を停止)してください。

△ 注 意

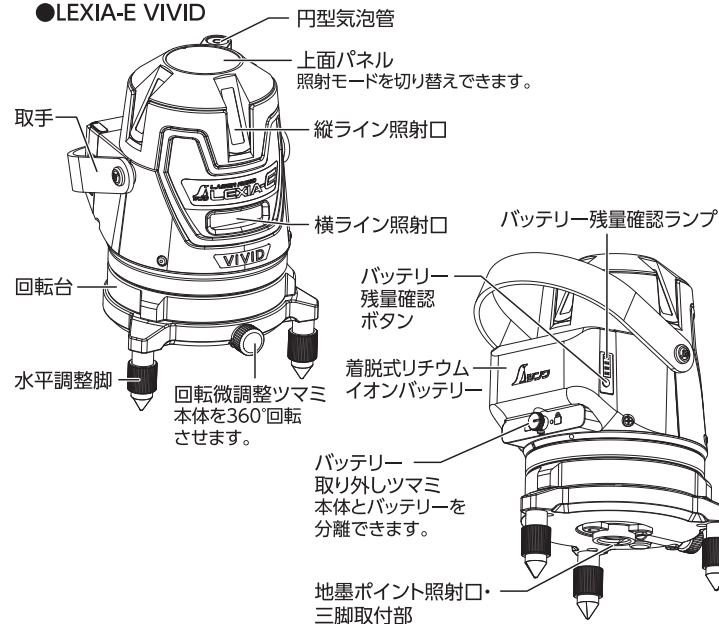
受光器の注意

- 受光器はシンワのレーザーロボ専用のものを使用してください。それ以外には使用できません。
- 受光器とレーザーロボをセットで使用する際は、レーザーロボの明るさを「中」にしてください。またVIVIDモードで自動追尾を行わないでください。
- 受光距離が範囲外、またはレーザーロボのバッテリーの残量が少ないと誤作動を起こす恐れがあります。
- 受光窓が汚れていると誤作動を起こす恐れがあります。柔らかい布などできれいに拭き取ってから使用してください。
- ケガキの精度は「①レーザー・墨出し器の精度+②受光器の受光精度+③作業者の墨つけ精度」で決まります。したがって、レーザー・墨出し器の精度よりも大きくなります。
- レーザーラインが受光器に90度で入射するようにしてください。傾いた状態で受光した場合、墨つけ精度が大きくなります。受光器両側面のケガキガイドにレーザーラインが重なっていることを確認してください。
- 自動追尾中は次の様な行為をしないでください。
 - 受光器を動かしたり、上下反転させる
 - レーザー・墨出し器本体に触る
 - 受光窓をふさいだり、ラインを遮断したりする
- 自動追尾は20mまで可能ですが、環境によって反応しにくい場合があります。
- なるべく水平なところにレーザー・墨出し器を置いてください。傾いたところに置かれている場合、自動追尾完了後に中心受光LED(青)が継続して点灯しないことがあります。
- レーザーラインの反射によって正しく受光しない状態で自動追尾が完了する恐れがあります。周囲に反射するものがないことを確認してから作業を行ってください。
- 受光する際にレーザーラインを直接のぞかないでください。レーザーラインが目に入ると視力低下・失明を起こす恐れがあります。
- 横ラインに対しては受光器の本体を立てて、縦ラインに対しては本体を横にして使用してください。それ以外では正確な位置が出ません。
- 本体の垂直または水平が出ていない状態でケガキを行なうと、正確な位置が出ないので注意してください。
- 次の場合、レーザーラインの基準位置を正しく検知できないことがあります。
 - 直射日光や強い照明の下での使用
 - 窓ガラスや鏡など、高反射面の近くでの使用
 - 蛍光灯などの電磁波を発生する機器の近くでの使用
 - 受光窓が汚れたり濡れたままでの使用
 - 受光器とレーザーロボの距離が2m以内の使用
 - レーザーロボが傾いた状態でレーザーラインが点滅時

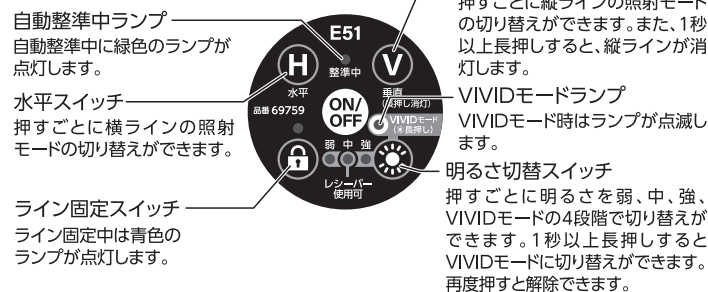


■各部の名称

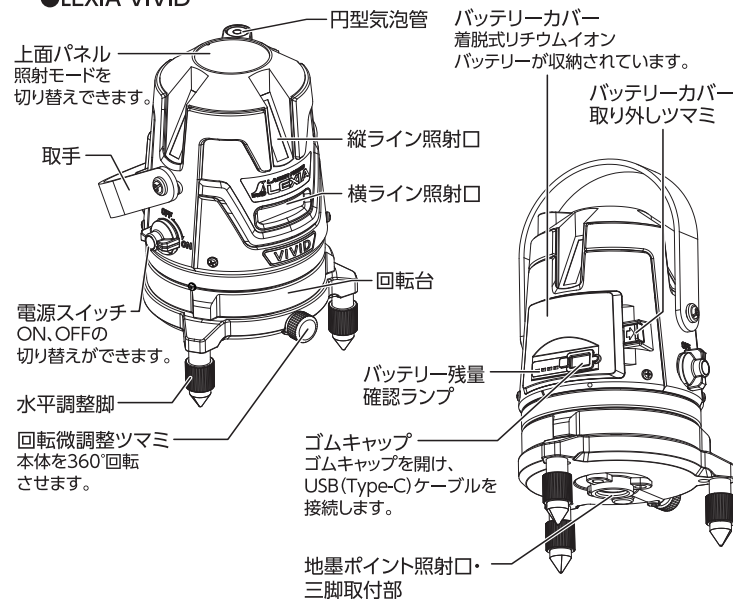
●LEXIA-E VIVID



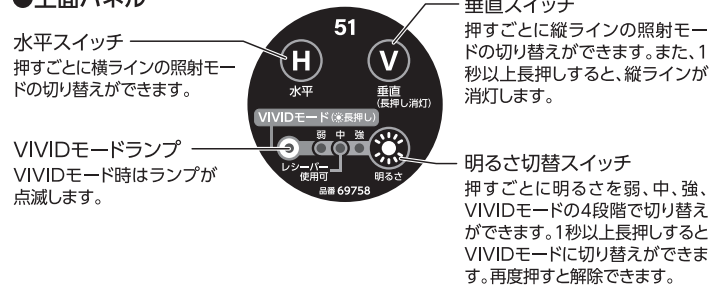
●上面パネル



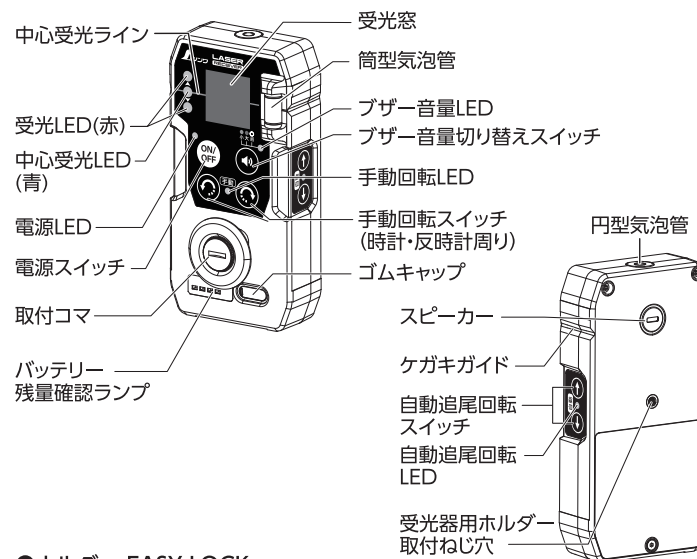
●LEXIA VIVID



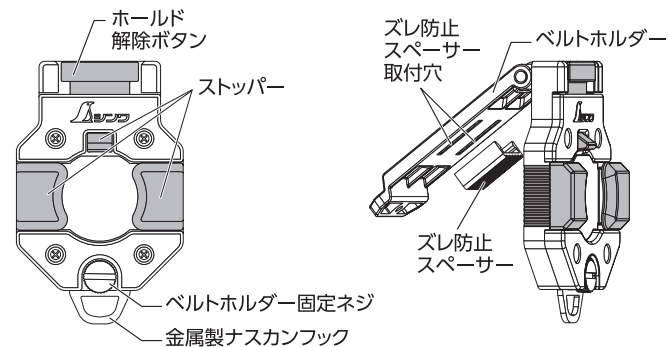
●上面パネル



●受光器



●ホルダー EASY-LOCK



■付属品

品番 82201
アルミケース



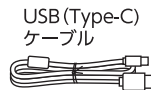
品番 69746
受光器 レーザーレシーバー
自動追尾回転台用
グリーン



品番 76659
受光器ホルダー



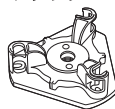
品番 76801
充電アダプター
USB Type-C



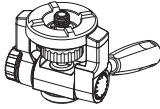
品番 80899
ホルダー EASY-LOCK



品番 76768
水平調整三脚
アダプター

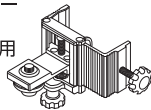


品番 80926
雲台 (LEXIA-E VIVIDのみの
付属品となります。)



■別売品

品番 76923
軽天用ホルダー
上下可動式
レーザーロボ用



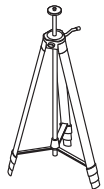
品番 80985
リチウムイオンバッテリー
LEXIA-E VIVID用



品番 80601
リチウムイオンバッテリー
LEXIA グリーン用



品番 76629
三脚 ハンドル式
エレベーター A
軽量タイプ



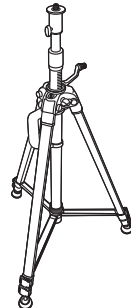
品番 76827
三脚 ハンドル式
エレベーター B
軽量 短脚 地墨タイプ



品番 76866
三脚 ハンドル式
エレベーター C
軽量 強化タイプ



品番 76829
三脚 ハンドル式
エレベーター D
3m 軽量 高所タイプ



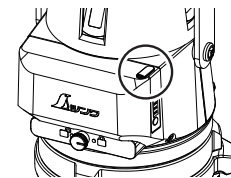
■ご使用の前に

必ず充電を行ってからご使用ください。

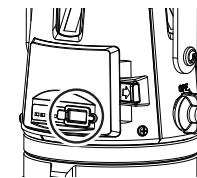
●着脱式リチウムイオンバッテリーの充電方法※

- ①バッテリーカバーのゴムキャップを開きます。

LEXIA-E VIVID



LEXIA VIVID

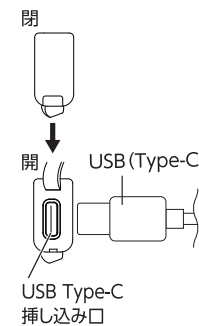


- ②付属のUSB (Type-C) ケーブルをUSB Type-C挿込み口に接続します。充電アダプターにUSB (Type-A) ケーブルを接続し、100Vコンセントに繋がします。

- ③コンセントに繋がるとバッテリー残量に応じて、バッテリーの側面にある充電残量確認ランプが青色に点滅します。全てのランプが青色に点灯すると充電完了です。電池残量がない状態からの充電時間の目安はLEXIA-E VIVIDは約3時間、LEXIA VIVIDは約2時間です。

※充電しながらのご使用はバッテリーの劣化を早める恐れがあります。

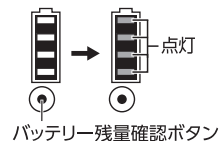
※バッテリーは本体についていても、外していても充電が可能です。



■バッテリー残量確認ボタンの使用方法

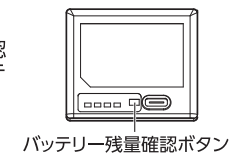
●LEXIA-E VIVID

バッテリー残量確認ボタンを押すと、バッテリー残量に応じて、バッテリー残量確認ランプが30秒間青色に点灯します。



●LEXIA VIVID

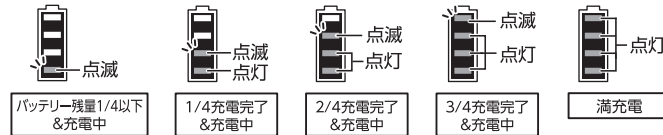
バッテリー本体についているバッテリー残量確認ボタンを押すと、バッテリー残量に応じて、バッテリー残量確認ランプが10秒間青色に点灯します。



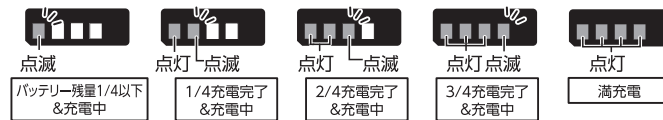
■バッテリー残量確認ランプの見方

点滅(青)…充電中 点灯(青)…充電完了

●LEXIA-E VIVID



●LEXIA VIVID

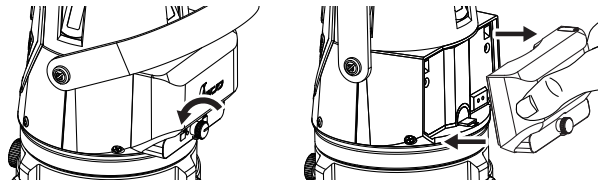


バッテリー残量確認ランプが1つ点灯の際は充電を行ってください。

■バッテリーの交換方法

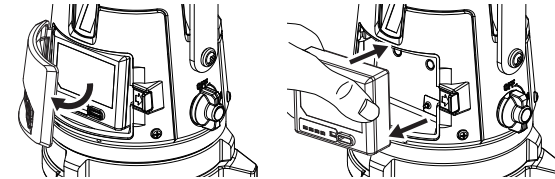
●LEXIA-E VIVID

- ①本体の電源をOFFにします。
- ②バッテリーを押さえながら、バッテリー取り外しツマミを回し、バッテリーを取り外します。
- ③代わりのバッテリーを本体に差し込みます。
- ④バッテリー取り外しツマミを回して本体にしっかり固定してください。



●LEXIA VIVID

- ①本体の電源をOFFにします。
- ②バッテリーカバー取り外しツマミを矢印の方向にスライドさせてバッテリーカバーの固定を解除し、取り外します。
- ③本体からバッテリーを取り外し、代わりのバッテリーを本体に差し込みます。
- ④バッテリーカバーを本体に取り付け、バッテリーカバーをしっかりと押し込み、本体からバッテリーが落ちないことを確認してから使用してください。



■使用方法

●水平調整方法

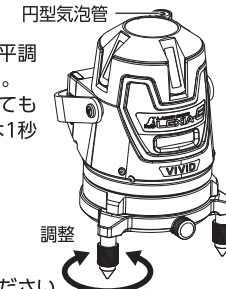
- ①円型気泡管の気泡が白い円内に入るように、水平調整脚で調整し、本体の水平出しを行ってください。気泡全体が白い円内に入れば、円の中心でなくても自動補正機構が働きます。自動補正範囲外では1秒間隔でレーザーラインが点滅します。



- ②電源をONにするとレーザーが照射されます。*
- ③上面パネルで、レーザー照射モードを選択してください。

※レーザー照射モードはラインメモリー機能により、電源スイッチをONにするとOFFにした時の状態で照射されます。

※VIVIDモード時のみラインメモリー機能が無効になります。VIVIDモードのまま電源スイッチを切り、再度電源を入ると中モード・横ラインのみで照射されます。



●回転微調整機構

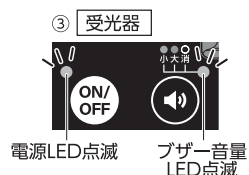
回転微調整ツマミをまわすことで、本体の角度を360°微調整できます。レーザーラインの照射位置を微調整する時にご使用ください。



●レーザーロボと受光器のペアリング方法

ペアリングは屋内で周囲に他のレーザー 墨出し器や受光器がない場所で行ってください。ペアリングは1台まで記憶できます。

- ①レーザーロボと受光器の電源がOFFになっていることを確認してください。
- ②レーザーロボの電源をONにします。明るさ「中」モードで横ラインが約10秒間点滅します。点滅中はペアリングを行えません。
- ③横ラインの点滅が終わったら受光器の電源をOFFの状態ですべて電源スイッチとブザー音量切り替えスイッチを同時に長押しすると電源LEDとブザー音量LEDが交互に点滅します。
- ④レーザーロボの水平スイッチを長押しすると受光器のブザーが2回(音量 大→小)鳴り、ペアリングが完了します。ペアリング状態が20秒続いて完了しない場合は自動で電源がOFFになります。その場合は最初からやり直してください。

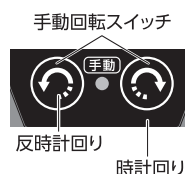


●受光器のブザー音量切り替え

- ①受光器の電源スイッチを押します。
- ②ブザー音量切り替えスイッチを押すごとに音量 小(LED:緑)→大(LED:赤)→消音(LED:無)に切り替わります。電源を入れた時は音量 小の状態になっています。

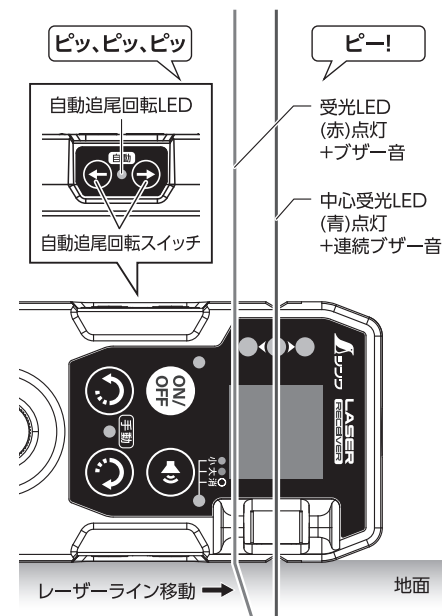
●手動での回転方法

- ①レーザーロボの電源をONにします。
- ②電源がONになると初期化動作が始まり、横ラインが点滅します(点滅中は触らないでください)。点灯に変わったら準備完了です。
- ③受光器の電源スイッチを押します(全てのLEDが1秒程度点灯)。
- ④受光器の手動回転スイッチを押すと、回転台が時計回り、または反時計回りに回転します。押すと動き、再度押すと止まるか確認してから使用してください。



●自動追尾での回転方法(地墨合わせを見る場合)

- ①レーザーロボの電源をONにします。縦ラインを照射させ、明るさのモードを「中」にします。下部ポイントを基点(地墨)に合わせます。
- ②受光器の電源スイッチを押します(全てのLEDが1秒程度点灯)。
- ③受光器を合わせたい地墨ライン位置に置きます。
- ④受光器側面の左右どちらかの自動追尾回転スイッチを押すと「ピピッ」とブザー音が鳴り、自動追尾回転LEDが点灯し、回転台が回転し始めます。
- ⑤レーザーラインが中心に近づくと、受光LED(赤)が点灯しブザー音が鳴ります。
- ⑥中心に合うと中心受光LED(青)が点灯し、「ピーッピーッ」と連続ブザー音が2回鳴った後、受光器側面の自動追尾回転LEDが消灯したら追尾完了です。30秒以内に完了しない場合はエラーと判断し、回転台は停止します。中止する場合はもう一度自動追尾回転スイッチを押します。
- ⑦中心受光LED(青)が継続して点灯していれば位置合わせが完了です。
- ⑧作業が終了したら、レーザーロボと受光器の電源をOFFにします。



- ・追尾回転中は手動回転ボタンが無効になります。
- ・消音時にはブザー音が鳴りません(ブザー音量LEDの点灯・消灯で状態を判断できます)。

■受光器の使用方法

●ブザー音と受光LEDについて

受光する位置によってブザー音の鳴り方が違うため、離れた場所からでもレーザーラインと中心の位置関係が分かります。ブザー音の鳴り方に合わせてレーザーラインをゆっくりと中心へ移動してください。

中心より上の場合
受光LEDが赤色に点灯します。

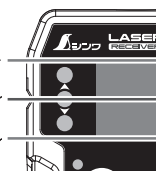
ピピピピピ

中心の場合
中心受光LEDが青色に点灯します。

ピー!

中心より下の場合
受光LEDが赤色に点灯します。

ピッ、ピッ、ピッ



●横ラインを見る場合

- ①受光窓を立てた状態でレーザーロボに向けて、レーザーラインが照射されていると思われる高さで垂直に上下させます(円型気泡管で垂直を確認しながら作業してください)。
- ②受光窓でレーザーラインを受光すると、受光LED(赤)が点灯します。ブザー音 小(または大)の時はブザー音が鳴ります。
- ③レーザーラインが中心受光ラインに重なると、受光LED(赤)は消灯し、中心受光LED(青)が点灯します。ブザー音 小(または大)の時は連続ブザー音が鳴ります。

円型気泡管



赤い円の中心に気泡が入るようにしてください。

●縦ラインを見る場合

- ①受光窓を横にした状態でレーザーロボに向けて、レーザーラインが照射されていると思われる位置で水平に動かします(筒型気泡管で水平を確認しながら作業してください)。
- ②受光窓でレーザーラインを受光すると、受光LED(赤)が点灯します。ブザー音 小(または大)の時はブザー音が鳴ります。
- ③ゆっくりと受光器を左右に動かします。レーザーラインが中心受光ラインに重なると、受光LED(赤)は消灯し、中心受光LED(青)が点灯します。ブザー音 小(または大)の時は連続ブザー音が鳴ります。

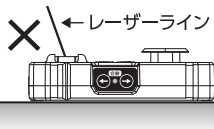
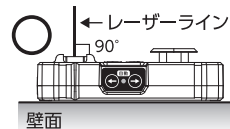
筒型気泡管



黒い線の中心に気泡が入るようにしてください。

●受光角度について(縦ライン・地墨合わせ共通)

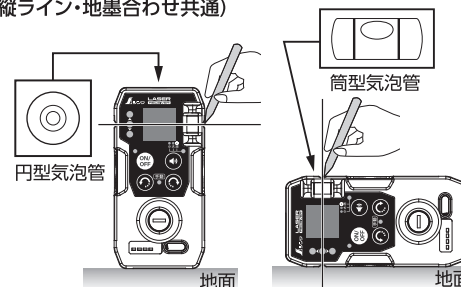
レーザーラインは受光窓に対して、垂直に当ててください。



壁面

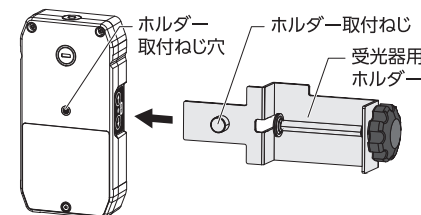
●ケガキ作業(横ライン・縦ライン・地墨合わせ共通)

中心受光LED(青)が点灯したところで本体が水平であることを再度確認してください。レーザーロボを固定して受光器をレーザーラインの通る位置で確認し、ケガキガイドに沿ってケガキを行ってください。



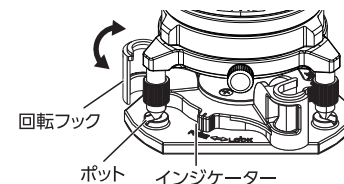
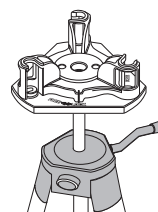
●受光器用ホルダーの取り付け方法

- ①受光器裏面のホルダー取付ねじ穴に受光器用ホルダーの取付ねじを合わせます。
- ②ホルダー取付ねじを締めて取り付けます。



■水平調整三脚アダプターの使い方

- ①水平調整三脚アダプターを三脚のねじに入れて回し、しっかり固定します。
- ②三脚をお使いになる場所、高さにセットします。
- ③水平調整三脚アダプターの回転フックを回転させ、インジケーターをFREEの位置に合わせます。
- ④ポットに本体の脚を乗せます。
- ⑤水平調整三脚アダプターの回転フックを回転させ、インジケーターをLOCKの位置に合わせます。

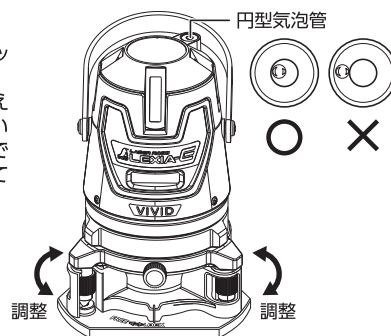


回転フック

ポット

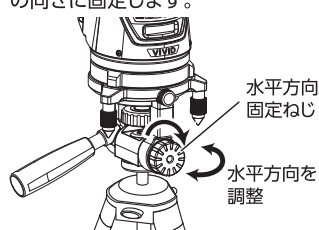
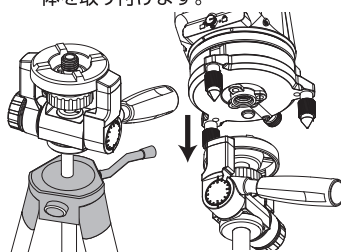
インジケーター

- ⑥ カチッという音が出て、回転フックが本体の脚を固定します。
- ⑦ 水平調整は、水平調整脚で行えます。円型気泡管の気泡が白い円内に入るように水平調整脚で調整し、本体の水平出しを行ってください。

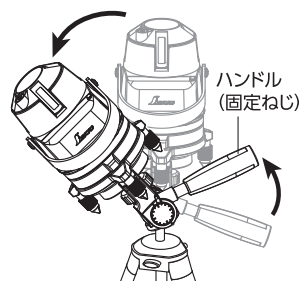


■雲台の使い方 (LEXIA-E VIVIDのみ)

- ① 雲台を三脚にしっかり固定します。
- ② 雲台のねじを回して、雲台に本体を取り付けます。
- ③ 三脚をお使いになる場所、高さにセットします。
- ④ 水平方向固定ねじを回して、雲台と本体の方向をレーザーを照射する指定の向きに固定します。



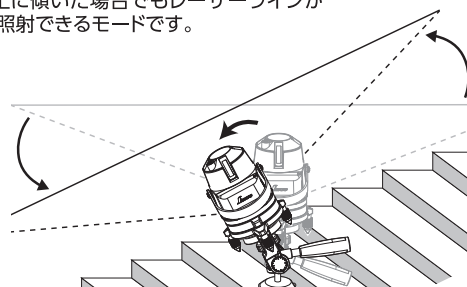
- ⑤ 本体をライン固定モードにして傾けます。ハンドルで固定ねじを緩めることで三脚を動かさずに本体を傾けることができます。
- ※傾ける際には、三脚が倒れないように注意してください。
- ※雲台に水平調整三脚アダプターを取り付けて使用することはできません。



■ライン固定モード (LEXIA-E VIVIDのみ)

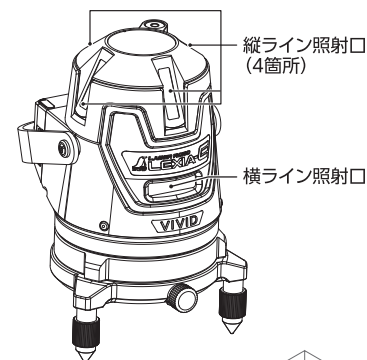
本体が自動補正範囲以上に傾いた場合でもレーザーラインが点滅せず、任意の角度で照射できるモードです。

- ① 上面パネルのライン固定スイッチ※を押すと自動整準動作が停止してレーザーラインが固定されます。

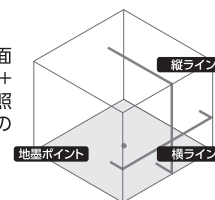


※VIVIDモード時にライン固定スイッチを押すと、VIVIDモードから中モードに明るさが切り替わり、レーザーラインは固定されません。ライン固定モード時に明るさスイッチを長押しすると、ライン固定モードは解除しVIVIDモードで照射されます。

■レーザー照射モード



VIVIDモード時は正面縦ライン+横ライン+地墨ポイントのみの照射となります。ラインの増減はできません。



●上面パネル

- ④ 水平、⑤ 垂直スイッチを押すことで、レーザー照射モードを切り替えられます。



④スイッチ

→横ライン→消灯

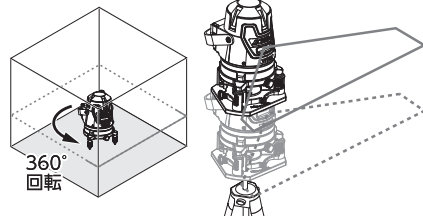
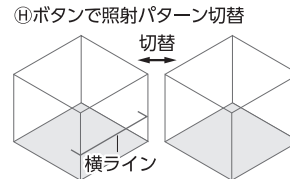
⑤スイッチ

- 正面縦ライン+地墨ポイント
- 縦ライン×2本(大矩)+地墨ポイント
- 縦ライン×2本(通り芯)+地墨ポイント
- 縦ライン×4本+地墨ポイント
- 長押し 消灯

■レーザー照射モードの使用方法(図はLEXIA-E VIVID)

●Hモード

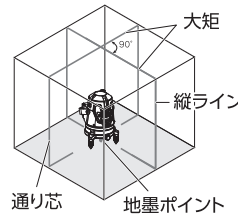
- ①本体を墨出しする場所の床上に置き、水平出しを行います。
- ②電源をONにすると横ラインが照射されます。*Hスイッチを押すごとに横ラインの点灯と消灯の切り替えができます。
- ③横ラインが照射されている状態で本体回転機構を利用することで、全周(360°)の水平が出せます。



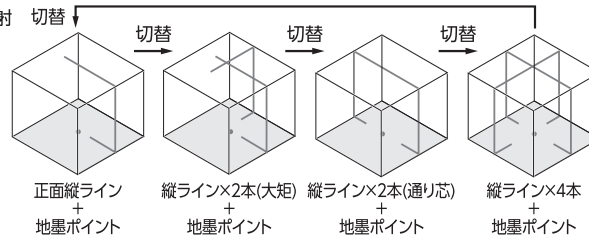
別売品のエレベーター三脚をお使いになると、横ラインの高さ調整ができます。

●Vモード

- ①本体を墨出しする場所の床上に置き、水平出しを行います。
- ②電源をONにすると縦ライン・地墨ポイントが照射されます。*Vスイッチを押すごとに縦ラインの照射モードを切り替えることができます。またVスイッチを1秒以上長押しすると、縦ラインと地墨ポイントが消灯します。



Vボタンで照射パターン切替



※レーザー照射モードはラインメモリー機能により、電源スイッチをONにするとOFFにした時の状態で照射されます。

※VIVIDモード時のみラインメモリー機能が無効になります。VIVIDモードのまま電源スイッチを切り、再度電源を入れたと中モード・横ラインのみで照射されます。

■ホルダー EASY-LOCKの使用方法

- 使用する前に、以下2点を確認してください。

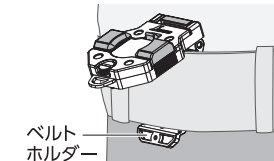
- ①受光器に、EASY-LOCK取付コマがしっかりと固定されているか。
- ②ホルダーや取付コマに摩耗や破損がなく確実に装着できるか。

△ 注意

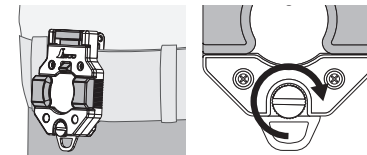
- 受光器をホルダーに装着した際、ストッパーが取付コマをしっかりと固定して外れないか確認してください。装着されるとカチッと音がします。
- 高所で使用する場合は、落下による事故を防止するため、落下防止コードを取り付けて使用してください。

●ベルトへの装着方法

- ①ベルトホルダー固定ねじを矢印の方向に回して、ベルトホルダーが開く状態にします。
- ②取り付けたいベルトの裏側にベルトホルダーを通します。



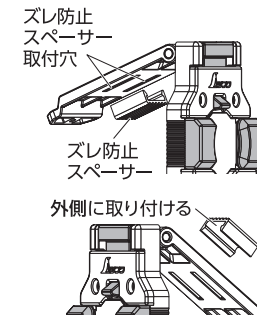
- ③本体を閉じ、ベルトホルダー固定ねじを最後まで締めて固定します。装着後、ホルダーが脱落しないか確認してください。対応可能ベルトは巾60mm以内、厚さ4mm以内です。



●ズレ防止スペーサーの使用方法

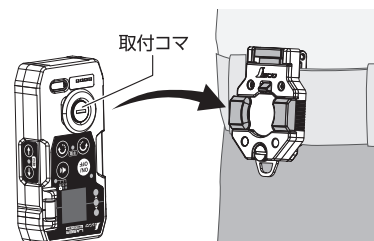
ベルトの厚みや固定力の好みに応じて、ズレ防止スペーサーの取り付け場所を変更し、固定力を変更できます。

- ・固定力:低→ズレ防止スペーサーを取り付けない。
- ・固定力:中→ズレ防止スペーサーをズレ防止スペーサー取付穴の内側に取り付ける。
- ・固定力:高→ズレ防止スペーサーをズレ防止スペーサー取付穴の外側に取り付ける。



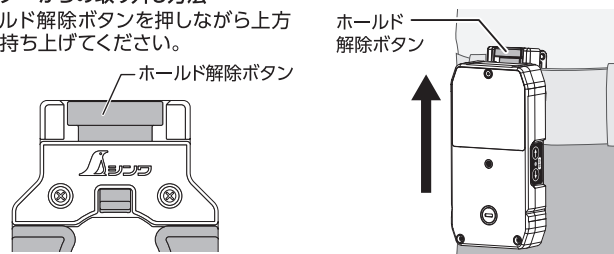
●ホルダーへの取り付け方法

ホルダーをベルトに装着し、取付コマを正面方向*からカチッと音がするまで押し入れます。
※上方向からも装着可能です。



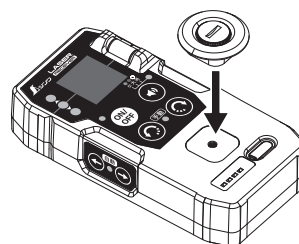
●ホルダーからの取り外し方法

ホールド解除ボタンを押しながら上方向に持ち上げてください。



●取付コマの取り外し・取り付け方法

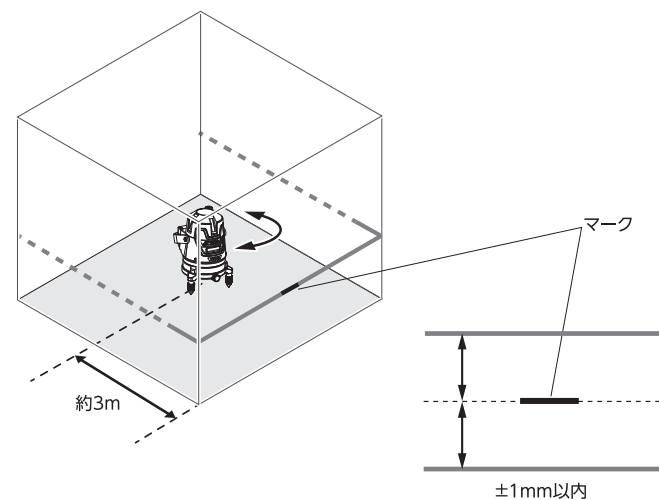
- ①コインなどでねじを回し、取付コマを外します。
- ②取り付ける際は窪みに合わせてねじを締めて取り付けます。



■使用前の点検(精度確認)

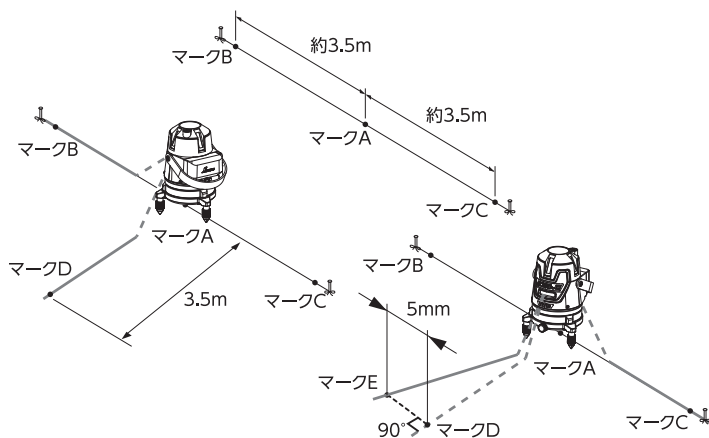
●横ライン(ろく)の点検(図はLEXIA-E VIVID)

- ①振動のない、できるだけ平らな場所を選びます。
- ②本体を壁面から約3mの所に置き、本体の水平出しを行います。
- ③電源をONにして上面パネルの④スイッチで横ラインを照射させます。縦ラインが照射されている場合は⑤スイッチを1秒以上長押しし、消灯させてください。
- ④壁面に向けて照射し、横ラインの中心付近に合わせてマークを付けます。
- ⑤本体を回して、横ラインの高さとマークの位置にズレがないかを確認します。
- ⑥ズレが±1mm以内であれば許容範囲内です。
許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要です。シンワサービスセンター宛に依頼してください。



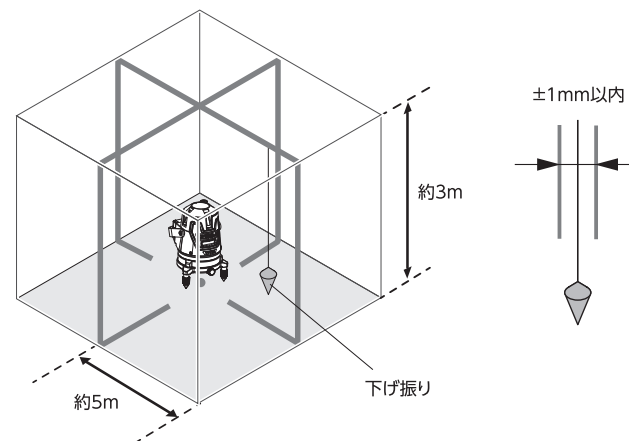
●大矩の点検(図はLEXIA-E VIVID)

- ① 振動のない、できるだけ平らな場所で約8mの水糸を床に張ります。
- ② 水糸の中心をマークAとし、マークAから両端に約3.5mの2箇所をマークB、マークCとします。
- ③ 本体を床上に置き、本体の水平出しを行います。
- ④ 電源をONにし、上面パネルの⑨スイッチを押し、大矩を照射させます。
- ⑤ 地墨ポイントとマークA、正面縦ラインとマークBが重なるように設置します。
- ⑥ 左側縦ラインの3.5mの位置をマークDとします。
- ⑦ 本体を回転させて、左側縦ラインがマークCに重なるように設置します。
- ⑧ 正面縦ラインの3.5mの位置をマークEとし、マークDとマークEのズレが5mm以内であれば許容範囲内です。
- ⑨ 他の大矩についても同様の点検を行います。
許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要です、シンワサービスセンター宛に依頼してください。



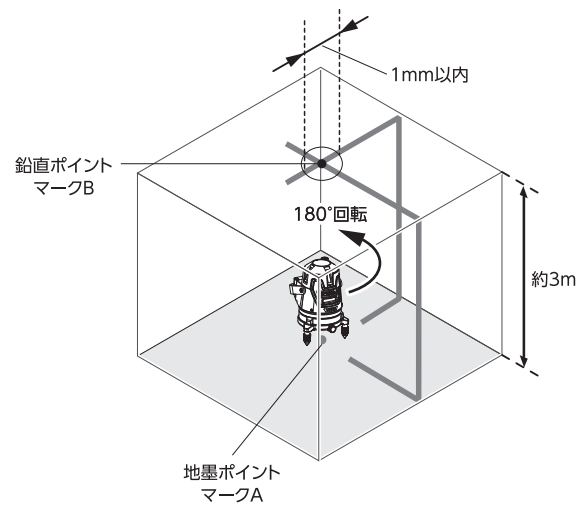
●縦ライン(たち)の点検(図はLEXIA-E VIVID)

- ① 天井が2～3m程度の高さで振動のない、できるだけ平らな場所を選びます。
- ② 本体を壁面から約5mの所に置き、水平出しを行います。
- ③ お手持ちの下げ振りを壁面近くの天井から吊り下げます。
- ④ 電源をONにし、上面パネルの⑨スイッチを押し、照射モードを全て照射するパターンに設定します。
- ⑤ 縦ラインを壁面に向けて照射し、下げ振りの糸に合わせます。
- ⑥ 下げ振りの糸と縦ラインにズレがないかを確認します。
- ⑦ ズレが±1mm以内であれば許容範囲内です。他の縦ラインについても同様の点検を行います。
許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要です、シンワサービスセンター宛に依頼してください。



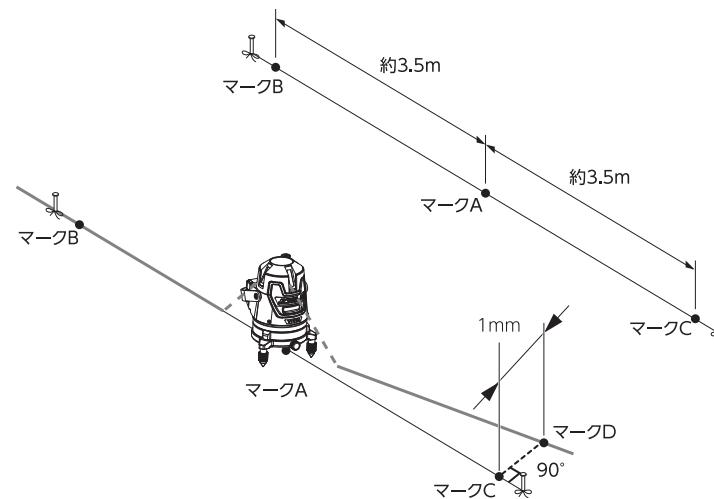
●上下鉛直の点検(図はLEXIA-E VIVID)

- ①天井の高さが約3mで振動のない、できるだけ平らな場所を選びます。
 - ②本体を床上に置き、本体の水平出しを行います。
 - ③電源をONにし、上面パネルの⑨スイッチを押し、大矩を照射させます。
 - ④地墨ポイントAと鉛直ポイントB(上部大矩のクロスした点)にマークを付けます。
 - ⑤本体を180°回転して地墨ポイントをマークAの位置に合わせます。
 - ⑥回転後の鉛直ポイントとマークBとのズレが1mm以内であれば許容範囲内です。
- 許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要です。シンワサービスセンター宛に依頼してください。



●通り芯の点検(図はLEXIA-E VIVID)

- ①振動のない、できるだけ平らな場所で約8mの水糸を床に張りります。
 - ②水糸の中心をマークAとし、マークAから両端に約3.5mの2箇所をマークB、マークCとします。
 - ③本体を床上に置き、本体の水平出しを行います。
 - ④電源をONにし、上面パネルの⑨スイッチを押し、通り芯を照射させます。
 - ⑤地墨ポイントとマークA、縦ラインとマークBが重なるように設置します。
 - ⑥マークC側に照射されている縦ラインの位置(下図に示す位置)をマークDとし、マークCとマークDとのズレが1mm以内であれば許容範囲内です。
 - ⑦他の通り芯についても同様の点検を行います。
- 許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要です。シンワサービスセンター宛に依頼してください。



■故障かな？と思ったら

修理の依頼をされる前に、下記の表を確認してください。下記の方法でも解決できない場合は保証書・ユーザー登録シートに記載の「保証規定（無償修理および盗難・火災補償）」をご確認のうえ、シンワサービスセンター宛に連絡してください。

トラブル状況	確認事項
レーザーラインが薄い、出ない	●リチウムイオンバッテリーの充電はされているか？ →充電をしてください。 ●レーザーロボの照射口は汚れていないか？ →照射口を柔らかい布などできれいに拭いてください。
レーザーラインが点滅する	●傾いた場所に設置していないか？ →円型気泡管の気泡が白い円内にあるか確認してください。 ●リチウムイオンバッテリーの充電はされているか？ →充電をしてください。
レーザーロボの充電ができない	●USB (Type-C) ケーブルは接続されているか？ ●充電アダプターにUSB (Type-A) ケーブルは接続されているか？ →しっかりと差し込んでください。
衝撃を与えてしまった	p.22「■使用前の点検（精度確認）」を行ってください。
受光器が反応しない	●他メーカーの受光器を使っていないか？ →シンワの受光器を使用してください。 ●受光器のバッテリーの充電はされているか？ →充電をしてください。 ●レーザーロボの明るさは「中」になっているか？ →上面パネルの明るさ切替スイッチを押して「中」に合わせてください。
受光器がレーザーラインの ないところで反応する	●受光窓が汚れていないか？ →受光窓を柔らかい布などできれいに拭いてください。 ●他メーカーのレーザー墨出し器を使っていないか？ →シンワのレーザーロボを使用してください。 ●周囲に窓ガラスや金属などの反射物はないか？ →反射物を移動させるか、布などで覆い隠してください。 ●レーザーロボとの距離が近くないか？ →2m以上離して使用してください。

■仕様

品 番		69759	69758
品 名		LEXIA-E VIVID 51	LEXIA VIVID 51
光 源		可視半導体レーザー	
出 力		5mW以下(クラス3R JIS C6802:2018)	
波 長		515～530nm(緑)、地墨ポイント645～655nm(赤)	
到達点距離精度		縦・横ライン7.5mで±1mm	
鉛直点精度		3mで±1mm	
直角精度		90°±0.03°	
通り芯精度		7.5mで±1mm	
ライン出射角		縦ライン 約130°／横ライン 約120°	
ライン光巾 (明るさ4段階)	5m	弱:約1.5mm／中:約1.8mm／強:約2mm／VIVID:約3mm	
	7.5m	弱:約2mm／中:約2.5mm／強:約3mm／VIVID:約4mm	
自動補正範囲		±2.5°	±3°
傾斜時警告※1		自動補正範囲を超えるとレーザーラインが点滅(約1秒間隔)	
回転微調整範囲		360°	
制動方式		電子水平センサー+モーター方式	振り子+磁気ダンパー方式
電 源		着脱式リチウムイオンバッテリー	
バッテリー容量		2,600mAh	1,600mAh
連続使用 可能時間※2	Ⓜモード(中)	約35時間	約21時間
	フル照射モード(中)	約8.5時間	約3.5時間
	Ⓜ+Ⓜモード(VIVID)	約5.5時間	約3時間
バッテリー残量警告		—	
防塵・防水性能※3		IP54	
本体サイズ		193×136×136mm (ボディ部 直径100mm)	191×136×136mm (ボディ部 直径100mm)
製品質量		1,260g	
三脚取付ねじ		5/8インチ	

※1 照射しているラインが点滅します。自動補正範囲内に戻ると元の状態に戻ります。
 ※2 20℃の環境で使用した場合です。また使用環境や充電回数などで変動します。連続使用時間は弱の場合、中のおよそ200%、強の場合、中のおよそ70%ですが、あくまで目安となります。
 ※3 防塵性能:粉塵が内部に侵入することを防止します。若干の粉塵の侵入があっても正常な運転を阻害しません。防水性能:いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けません。

■修理およびメンテナンス

シンワ「レーザーロボ LEXIA-E VIVID/LEXIA VIVID 自動追尾」は精密機器です。精度維持および末永くご使用いただくために、シンワサービスセンター宛に年1回の定期点検(有料)をご依頼くださることをおすすめします。

Shinwa Service System 【シンワサービスシステム】

保証書・ユーザー登録シートで事前にユーザー登録(無料)をしていただきますと、メンテナンスご依頼の時に迅速に対応できます。短納期によるメンテナンスサービス体制で原則として4営業日以内に弊社から発送いたします。

また、ご購入日から1年間は、万一盗難や火災に遭っても5,000円※の自己負担で新品をお届けします。

※ユーザー登録済みの製品1点の場合の金額です。レーザー本体や受光器、自動追尾回転台など複数台の補償が必要な場合は、それぞれの製品に対して各5,000円の合計金額がお客様の自己負担額となります。



⚠ 修理や検査は保証書・ユーザー登録シートをご用意の上、お問い合わせください。

⚠ 受光器と一緒に送付してください。

下記のお問い合わせフォームまたはお電話かFAXより受け付けております。

レーザー・光学機器専用お問い合わせ先

お問い合わせ
フォーム
(Web申し込み)



QRコードを読み取り「メールでのお問い合わせ」よりお問い合わせください。お急ぎの際は、お手数ですがお電話にてお問い合わせください。
<https://www.shinwasokutei.co.jp/support-top/laser/>

〒959-1276 新潟県燕市小池3485 シンワサービスセンター

TEL 0120-305143 FAX 0120-305144

レーザー・光学機器の部品保有期間は廃番後3年間となります。それ以降は在庫がなくなり次第、もしくは廃番後5年経過したものから提供終了とさせていただきますのでご了承願います。